

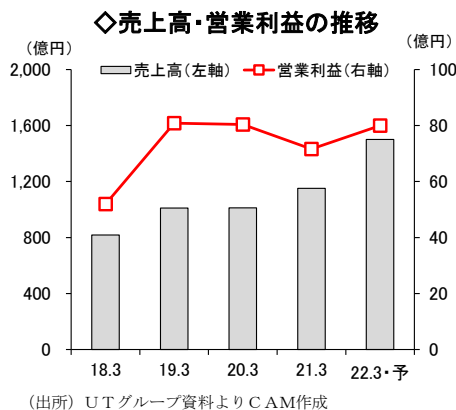
企業ニュース UTグループ

(東証1部：2146) <https://www.ut-g.co.jp>

作成者：村上大志

製造派遣分野のリーディングカンパニー

1995年設立。創業時より、製造派遣業界では異例だった無期雇用による人材派遣事業を展開し、工程全体を一括受託する「工程一括請負」というビジネスモデルを確立した。2000年代には、高度な専門性を要する半導体製造の請負で国内トップとなった。現在では、半導体分野に加え、自動車関連、建材、住設分野などものづくりに係る幅広い分野で人材派遣及び業務請負サービスなどを提供している。第4次中期経営計画では、25.3期の売上高2,000億円、EBITDA※200~300億円を目指す。21.3期のセグメント別売上高構成比はマニュファクチャリング60%、ソリューション26%、エンジニアリング14%。※EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却額



今期はシェアと売上の拡大を重視

21.3期の連結業績は売上高が1,151億円、前期比14%増、営業利益が72億円、同11%減。新型コロナウイルスの感染拡大で、顧客工場の一時的な稼働停止などの影響があったが、下期の自動車や半導体・電子部品関連の人材需要の増加と、M&A効果により過去最高の売上高となった。営業利益は採用活動の強化による販管費増で減益となったが、技術職社員数は同21%増の23,736人と、大幅に増加した。

22.3期の会社計画は売上高が1,500億円、前期比30%増、営業利益が80億円、同12%増。半導体関連を中心に大手製造業では、生産計画に対応するための人材がひっ迫していることから、人材需要は堅調な推移が見込まれる。今期はシェアと売上の拡大を重視する方針で、人員増と地域の有力な派遣事業者との提携・M&Aを推進する。採用活動では、月間1,000名採用の常態化を目指す。提携・M&Aでは、4月に茨城県に特化した組織を新設しており、同県での事業基盤の強化・拡充が期待される。また、愛知県を中心とする地場の派遣事業者を5月に新規連結しており、今期業績への貢献が見込めよう。

[株価動向・投資判断]

新型コロナウイルス感染拡大により落ち込んだ景気の回復に伴い、製造業での人材需要はひっ迫傾向にあることから、業績の拡大が期待される。

<2146 UT 業績:日本基準>

[今期予想の配当金は発行会社予想]

	売上高	営業利益	経常利益	当期利益	1株利益	1株配当
	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	円	円
20.3	101,191 (0)	8,040 (▲ 1)	8,113 (▲ 1)	4,509 (▲ 9)	111.7	0.00
21.3	115,131 (14)	7,163 (▲ 11)	7,191 (▲ 11)	4,299 (▲ 5)	106.5	66.00
22.3 予	150,000 (30)	8,000 (12)	8,000 (11)	4,800 (12)	118.9	未定

(注)21.3期の1株配当は普通配当32円と特別配当34円の合計値、22.3期の予想1株配当は未定



[主要株価指標]		(売買単位：100株)
株価(2021/7/2)		3,320 円
年初来高値(高値日)		3,945 円(21/3/18)
同 安値(安値日)		2,772 円(21/1/18)
予想P E R(22.3予)		27.9 倍
1株株主資本(PBR算出用)		472.9 円
P B R		7.02 倍
予想配当利回り		- %
(1株当たり配当金 未定)		
R O E(21.3)		25.3 %
発行済み株式数		4,036 万株